

内閣総理大臣
自民党総裁 安倍晋三様

法務大臣 山下貴司様

公明党代表 山口那津男様

日本維新の会共同代表 片山虎之助様

衆議院での出入国管理法改定案の採決強行に抗議し、参議院で徹底審議のうえ、廃案にすることをつよく求めます

2018年11月28日
新日本婦人の会中央本部

11月27日、自民党、公明党、維新の会による衆議院での出入国管理法改定案の採決強行に、怒りをもって抗議します。

法務委員会は葉梨委員長の職権で21日の審議入り、それ以後の審議日程も、内容も委員長職権で進め、安倍首相の外遊日程に合わせて、採決を強行したものです。審議時間は17時間15分に過ぎず、労働者・国民の声を聞くことなく強引にすすめるやり方は、あまりにも国会を軽視するものであり、数の力でごり押しすることは絶対に許されません。しかも、少ない審議時間の中でも、データねつ造や外国人労働者への人権侵害や法令違反の実態が次々と明らかになってきているのです。

外国人労働者の実態を踏まえ、参議院で徹底審議のうえ、出入国管理法改定案は廃案にすることをつよく求めるものです。